Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

問い合わせ先

海事局外航課海運渉外室 西田、川村 代表番号 03-5253-8111 内線 43-354

直通番号 03-5253-8620

平成21年10月13日 国 土 交 通 省

第6回日英海事政策対話の結果概要について

標記について、平成21年10月9日(金)、ロンドンにおいて日本及び英国の海事当局(日本側:大黒伊勢夫海事局次長、英国側:イアン・ウッドマン海事局長)による第6回日英海事政策対話が開催された。主要議題に関する結果概要は以下のとおり。

1. マラッカ・シンガポール海峡航行安全対策について

日本側から、2007年9月に創設された、国際海峡における沿岸国と利用国の協力のあり方を具体化した「協力メカニズム」への我が国等からの支援等運営状況を紹介した。英国側からは、この「協力メカニズム」を評価する旨の認識が示された。

2. 海洋環境保全政策について

外航海運におけるCO2削減に関し、鍵となる経済的手法に関する検討において、提案する削減手法は異なるものの(英国は海運における排出権取引制度創設を主張、一方、日本は燃料に課金する制度を主張)、双方が、国際海事機関(IMO)における検討に積極的に関与する意向が示された。また、今年5月に採択されたシップリサイクル条約について、条約の早期発効に向けて相互に協力していくことを確認した。

3. WTO海運サービス交渉について

日本側から、海運サービス交渉の状況を説明したところ、英国側からは、日本のリーダーシップに感謝すると共に、2010年中の妥結を目指すとのラクイラサミット首脳宣言の実現に向け、様々な場において、今後も日本と英国が連携していくことを確認した。

4. 海賊対策について

日本側から、英国の海賊対処に関するリーダーシップに感謝すると共に、我が国における 護衛活動や海賊対処法の成立などの海賊対策について説明した。英国からは、日本のエスコ ート方式は有効であるとし、今後も欧州とアジアを結ぶ重要な海域における航行の自由を確 保するため協力していくことを確認した。

5. トン数標準税制について

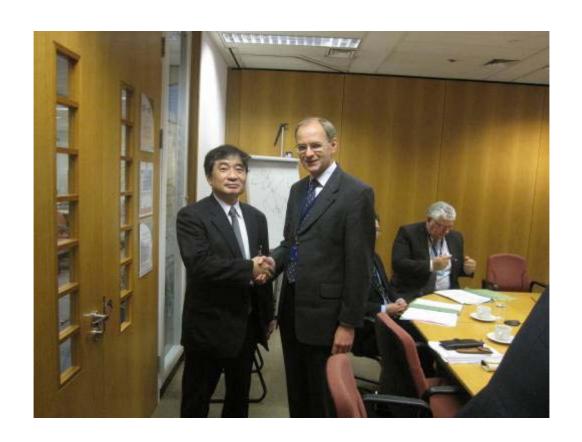
日本側から、今年度より10社が同税制の適用を受け、順調に制度が開始されたことを報告し、英国側のこれまでの情報提供等の協力に感謝する旨発言した。英国側からは、トン数標準税制の導入により、船員の教育訓練が充実したことが報告された。







英国側代表団 (中央がイアン・ウッドマン海事局長)



日英首席代表による握手